

成瀬ダム『ダムカード』が完成！

配付を開始します

成瀬ダム工事事務所では、成瀬ダムを広く知って頂くため、**成瀬ダム『ダムカード』**を作成しました。

ダムカードは、成瀬ダム工事事務所及び東成瀬村内の施設において、平成29年9月11日から配付を開始致します。

成瀬ダムでは、平成29年度からダム本体関連工事として、ダム天端高以上の基礎掘削等に着手し、工事が本格化し始めます。

工事の本格化に併せ、**成瀬ダムの目的や基礎的諸元などをより多くの方に知って頂くため、ダムカードを作成**致しました。

ダムカードの多くは、ダムのそばにある管理所などで受け取ることが可能ですが、当ダムでは現在の**事務所とダムまで離れて**おります。また休日などの**閉庁日には配付することができません**。

そこで、**東成瀬村から**休日でも配付可能な村内の**施設を紹介**頂き、その施設で配付することにより、**ダムだけではなく**、ダムの位置する東成瀬村や**村内の特産品などについてもPRができる**と考えております。

<<※発表記者会等>>

秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局
日刊秋田建設工業新聞、建設新聞社秋田支局

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 成瀬ダム工事事務所
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1
電話0182-23-8450（代表）
メール thr-narusedam01@mlit.go.jp

副 所 長 庄子 克実（内線204）

調査設計課長 佐藤 隆夫（内線351）

本資料（カラー版）は、成瀬ダム工事事務所WEBトップページの『記者発表』から閲覧、ダウンロード（PDF）が可能です。

『ダムカード』とは・・・

ダムカードは、平成19年度から、国土交通省と独立行政法人水資源機構の管理するダムでダムを訪問した方に配布しているものです。

最近では、発電専用ダムや都道府県管理のダムなどでも発行し、約3年前と比べると1.6倍の605ダム※と、年々増えてきております。

カードの大きさは、キャッシュカードなどよりも一回り大きなトレーディングカードサイズ（88mm×63mm）です。

※：公式デザイン（大きさ、色など）によるもの。この他公式デザイン以外のカードもあり平成29年4月現在、建設中のダムで公式デザインのダムカードを配付しているのは4ダム。

成瀬ダム『ダムカード』の入手方法

◆配付場所、配付時間など

～通年平日のみ～

- ・配付場所：[成瀬ダム工事事務所](#)
- ・配付場所住所：秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1
- ・電話番号：0182-23-8438（成瀬ダム工事事務所 調査設計課）
- ・配付時間：午前9時～午後5時

～夏期 土日、祝祭日～

- ・配付場所：[夢・なるせ直売所](#)
- ・配付場所住所：秋田県雄勝郡東成瀬村岩井川字下村91番地1
- ・電話番号：0182-47-2220
- ・配付期間：[4月下旬](#)（今年は29日）
[～11月最終日曜日](#)（今年は26日）まで
- ・配付時間：午前8時～午後4時30分

～冬期 土日、祝祭日～

- ・配付場所：[郷土文化保存伝習施設 ふる里館](#)
- ・配付場所住所：秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野67番地2
- ・電話番号：0182-47-2241
- ・配付期間：[11月下旬～4月下旬](#)まで
- ・配付時間：午前9時～午後4時30分

◆ダム（建設現場）を見た証として、成瀬ダム展望台などからデジタルカメラや携帯、スマートフォンなどで写真を撮影し、配付場所で提示願います。

ダムカードの配付は**お一人1枚**です。

また、国道342号は冬期通行止めとなりますので、通行止め箇所写真撮影願います。

◆お問い合わせ

成瀬ダム工事事務所 調査設計課

電話 0182-23-8438 F A X 23-6369

メール thr-narusedam01@mlit.go.jp

成瀬ダムダムカードの表面



成瀬ダムダムカードの特徴

残雪の残る栗駒山と新緑の山並みの風景にダム完成後のイメージを重ねています

ダムカードのウラ面

DAM-DATA

所在地：秋田県雄勝郡東成瀬村
河川名：雄物川水系成瀬川
型式：台形CSGダム
ゲート：ゲートレス（自然越流方式）
堤高・堤頂長：114.5m・755m
総貯水容量：7,850万³m
事業者：国土交通省
本体着工完成年：2024年完成予定

詳しいデータはこちら <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

ランダム情報

成瀬ダムは雄物川水系成瀬川に建設される多目的ダム。昭和58年秋田県により実施計画調査が開始され平成3年に国直轄事業に移行。平成9年から建設事業に着手。平成29年度からは本体関連工事を契約し工事が本格化。

こだわり技術

ダム型式は、国内では6例目となる台形CSG型式を採用。これにより、材料、設計、施工の3つの合理化が図られることとなった。さらには、堤体掘削土量の減少や洪水吐が堤体と一体となって設置可能になり、使用するコンクリート量の減少や、原石山の縮小、工事用道路の縮減などが可能となった。また、ダム高はCSG型式のダムでは最大となる初の100m超の114.5mである。

全国のダムカード一覧 国土交通省 水管理・国土保全局

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyoo/campaign/shunnkan/damcard.html>

秋田県内でダムカードを発行しているダムは、国土交通省管理ダムとして、玉川ダム、森吉山ダムの2ダム。秋田県管理のダムで15ダムの計17ダムであり、当ダムを入れると18ダムとなる。

ダムカードを発行しているダムの数は東北六県の中では、秋田県が最多。

（秋田県では、平成28年度から15ダムのダムカードを配付。）